

# 令和7年度 第2回 蕨市消防委員会



(令和7年10月納品)

日時 令和8年2月10日(火)

午後3時 開会

場所 蕨市消防本部 3階講堂

令和7年度 第2回  
蕨市消防委員会 次第

1 開 会

2 消防委員長挨拶

3 消防長挨拶

4 議 題

(1) 令和7年中の火災・救急の概要について

(2) 令和8年度消防本部所管歳出予算（案）の概要について

(3) 令和8年春季全国火災予防運動について

(4) その他

5 閉 会

## 令和7年中の火災・救急の概要について

## 1 火災について

## ① 年別火災状況

年 別	火 災 件 数								出火率 (※)	焼損床面積 (㎡)	死 者	負 傷 者	
	合 計	火 災 種 別						車 両					そ の 他
		小 計	建 物 火 災				火 元 建 物						
			全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や							
令和7年	15	11	2	0	1	8	1	3	1.9	255	0	4	
令和6年	14	10	0	0	1	9	0	4	1.8	25	0	5	
前 年 比	1	1	2	0	0	-1	1	-1	0.1	230	0	-1	

(※) 出火率：人口1万人あたりの出火件数

参考：令和6年中の近隣市・埼玉県・全国の出火率

市・県・国		さいたま市		川口市		戸田市		埼玉県		全国	
火災件数	人口(万人)	354	135.1	131	59.4	32	14.2	1,928	732.9	37,036	12,380.2
出火率		2.6		2.2		2.3		2.6		3.0	

## ② 火災原因

年 別	たばこの不始末	こんろ	電灯・電話等の配線	ストーブ	たき火	放火	放火の疑い	火遊び	その他	不明・調査中	合 計
令和7年	4	3	2	0	0	0	0	0	3	3	15
令和6年	0	2	4	0	0	2	1	0	3	2	14
前 年 比	4	1	-2	0	0	-2	-1	0	0	1	1

参考：令和6年中の火災原因最多順位 (放火等：放火と放火の疑いを合わせたもの)

蕨市	1	電灯電話等の配線	2	放火等	3	こんろ
埼玉県	1	放火等	2	こんろ	3	たばこ
全国	1	放火等	2	たばこ	3	たき火

資料 1 - 2

# 令和 7 年中 救急統計

救急出動件数及び搬送人員

	出動件数	搬送人員
令和7年	4,724件	3,585人
令和6年	4,748件	3,697人
増減数	-24件	-112人
増減比	-0.5%	-3.0%

事故種別別 救急出動状況 (出動割合及び搬送割合)

	合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院	医師搬送	資材搬送	その他
出動件数	4,724	45	0	0	179	24	10	807	33	32	3,379	193	0	0	22
出動割合	100%	1.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.5%	0.2%	17.1%	0.7%	0.7%	71.5%	4.1%	0.0%	0.0%	0.5%
搬送人員	3,585	3	0	0	135	24	9	641	20	20	2,540	193			
搬送割合	100%	0.1%	0.0%	0.0%	3.8%	0.7%	0.3%	17.9%	0.6%	0.6%	70.9%	5.4%			

事故種別別 出動件数及び前年比 (件)

	合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院	医師搬送	資材搬送	その他
令和7年	4,724	45	0	0	179	24	10	807	33	32	3,379	193	0	0	22
令和6年	4,748	45	0	0	211	33	25	732	35	50	3,420	171	0	0	26
増減数	-24	0	0	0	-32	-9	-15	75	-2	-18	-41	22	0	0	-4
増減比	-0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	-15.2%	-27.3%	-60.0%	10.2%	-5.7%	-36.0%	-1.2%	12.9%	0.0%	0.0%	-15.4%

事故種別別 搬送人員及び前年比 (人)

	合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他
令和7年	3,585	3	0	0	135	24	9	641	20	20	2,540	193
令和6年	3,697	4	0	0	165	31	24	576	18	24	2,684	171
増減数	-112	-1	0	0	-30	-7	-15	65	2	-4	-144	22
増減比	-3.0%	-25.0%	0.0%	0.0%	-18.2%	-22.6%	-62.5%	11.3%	11.1%	-16.7%	-5.4%	12.9%

年齢区分別 搬送人員及び前年比 (人)

	合計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
令和7年	3,585	11	145	127	1,183	2,119
令和6年	3,697	17	200	126	1,247	2,107
増減数	-112	-6	-55	1	-64	12
増減比	-3.0%	-35.3%	-27.5%	0.8%	-5.1%	0.6%

※年齢区分

- 新生児：生後28日未満の者
- 乳幼児：生後28日以上7歳未満の者
- 少年：満7歳以上満18歳未満の者
- 成人：満18歳以上満65歳未満の者
- 高齢者：満65歳以上の者

傷病程度別 搬送人員及び前年比 (人)

	合計	軽症	中等症	重症	死亡	その他
令和7年	3,585	1,993	1,323	248	21	0
令和6年	3,697	2,060	1,375	240	22	0
増減数	-112	-67	-52	8	-1	0
増減比	-3.0%	-3.3%	-3.8%	3.3%	-4.5%	0.0%

※傷病程度

- 死亡：初診時において死亡が確認されたもの
- 重症：傷病程度が3週間以上の入院加療が必要なもの
- 中等症：傷病程度が重症又は軽症以外のもの
- 軽症：傷病程度が入院加療を必要としないもの

## 令和 7 年中 搬送医療機関

医療機関名称	令和7年	令和6年	令和5年	令和7年割合
戸田中央総合病院（戸田市）	960	1040	1048	26.8%
済生会川口総合病院（川口市）	586	518	461	16.3%
蕨市立病院（蕨市）	344	479	427	9.6%
中島病院（戸田市）	339	231	182	9.5%
公平病院（戸田市）	114	186	255	3.2%
川口市立医療センター（川口市）	166	172	235	4.6%
益子病院（川口市）	230	166	160	6.4%
かわぐち心臓呼吸器病院（川口市）	125	161	166	3.5%
安東病院（川口市）	113	130	64	3.2%
川口市立医療センター救命救急センター（川口市）	72	87	98	2.0%
秋葉病院（さいたま市）	54	69	50	1.5%
板橋中央総合病院（東京都）	58	50	65	1.6%
東京北医療センター（東京都）	51	47	52	1.4%
埼玉協同病院（川口市）	43	40	55	1.2%
高島平中央総合病院（東京都）	19	29	17	0.5%
川口工業総合病院（川口市）	20	27	20	0.6%
帝京大学医学部附属病院（東京都）	18	20	28	0.5%
さいたま赤十字病院（さいたま市）	26	19	23	0.7%
三愛病院（さいたま市）	15	18	14	0.4%
その他	232	208	298	6.5%
合 計	3,585	3,697	3,718	100%

## 資料 2 - 1

令和 8 年度消防費（消防本部所管）  
 歳出予算（案）の概要について

（単位：千円）

区 分	令和8年度予算額	令和7年度予算額	比 較
消 防 費 （消防本部所管）	1,090,868	1,069,918	20,950
01 常備消防費	905,788	920,140	△ 14,352
一般職人件費	791,599	750,281	41,318
消防事務費	7,549	7,237	312
消防・救急活動費	69,640	74,656	△ 5,016
職員研修費	4,653	5,566	△ 913
消防庁舎管理費	16,957	17,178	△ 221
消防庁舎等改修事業	0	54,464	△ 54,464
消防車両管理費	15,390	10,758	4,632
02 非常備消防費	21,699	21,164	535
消防団員活動費	20,261	19,845	416
消防団施設管理費	375	374	1
消防団車両管理費	1,063	945	118
03 消防施設費	163,381	128,614	34,767
消火栓等維持管理費	10,846	9,541	1,305
消火栓等整備事業	11,095	4,964	6,131
消防ポンプ自動車整備事業	88,344	76,307	12,037
高規格救急自動車整備事業	41,051	37,802	3,249
査察自動車整備事業	12,045		12,045

## 令和 8 年度主な消防歳出予算（案）について

## 1 常備消防費（消防・救急活動費）

事業概要	予算額(円)
備品購入費 救急訓練人形	2,728,000

## 救急訓練人形



人体に近い感触や関節の動きを再現しており、胸骨圧迫、気道確保、静脈路確保、除細動等の訓練が可能。また、タブレットにより拍動、呼吸音、心音等のバイタルサインの再現もでき、高度な救急救命士の処置訓練が可能。

## 2 常備消防費（職員研修費）

事業概要	予算額(円)
研修等出席負担金 JIRRA-C トレーニング	264,000



（参考：研修背景）

ロープレキュー資器材を取り扱うにあたり、理論と実例をバランスよく取り入れ、基礎知識から実践的スキルまでを向上させる研修。

### 3 常備消防費（消防車両管理費）

事業概要	予算額(円)
自動車 業務車	4,298,966



(イメージ車両)

平成16年に購入後、職員が関係機関への移動時に使用。内外装も劣化が著しいため、令和8年度に車両を更新。

### 4 非常備消防費（消防団員活動費）

事業概要	予算額(円)
需用費①高性能防火服	2,295,370
②スポットクーラー	191,180

#### ①高性能防火服



消防団員が現場活動において、災害環境の変化に対応するため、作業性を大幅に向上させた高性能防火服にフルモデルチェンジを行う。

#### ②スポットクーラー



災害現場、訓練、消防PR活動等において、熱中症リスクが著しく高くなっているため、消防団員の熱中症対策資器材として導入。

## 5 消防施設費（高規格救急自動車整備事業）

事業概要	予算額(円)
自動車 高規格救急自動車（塚越救急1）	41,050,434



（イメージ車両）

平成24年の購入から14年が経過、走行距離も13万キロを超え、内外装の劣化が著しい他、様々な不具合が生じているため、令和8年度に車両を更新。

## 6 消防施設費（消防ポンプ自動車整備事業）

事業概要	予算額(円)
自動車 消防ポンプ自動車（蕨塚越1）	88,343,200



（イメージ車両）

平成21年の購入から17年が経過。車体の不具合もあり、修理を重ね、運用に至っており、内装外の劣化も発生しているため、令和8年度に車両を更新。

## 7 消防施設費（査察自動車整備事業）

事業概要	予算額(円)
自動車 査察自動車（査察1）	12,045,000



（イメージ車両）

平成17年の購入から21年が経過。空調関係の不具合が続いているほか、内外装の劣化も発生しているため、令和8年度に車両を更新。

令和7年度 | 2月補正

8 常備消防費（消防庁舎等改修事業）

事業概要	予算額（円）
委託料・工事請負費 自家用発電設備更新工事	168,866,000 （繰越明許費）



昭和56年の消防庁舎建設時より使用する自家用発電設備を更新するにあたり、令和7年度に設計を委託し、令和8年度に更新工事を実施。

（現在の自家用発電設備）

※「緊急防災・減災事業債」対象事業

常備消防費－施設管理費－消防庁舎等改修事業

①委託料 2,266,000円

②工事請負費 166,600,000円

## 令和 8 年春季全国火災予防運動の実施について

### 1 目的

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とする。

### 2 防火標語（2025 年度全国統一防火標語）

「 急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし 」

### 3 実施期間

令和 8 年 3 月 1 日（日）から 3 月 7 日（土）まで

### 4 本予防運動中の重点目標

- (1) 感震ブレーカーの普及推進
- (2) 住宅用火災警報器の設置、維持管理の推進
- (3) リチウムイオン電池の出火防止啓発の推進
- (4) 放火、たばこ、コンロを起因とする出火防止対策の推進

### 5 蕨市の実施内容

- (1) 令和 8 年 3 月 2 日（月）蕨駅での広報活動
- (2) 蕨駅・大型店舗等の電光掲示板や放送による広報
- (3) 防災行政無線や消防車両による火災予防広報
- (4) 広報わらびや消防本部ホームページでの火災予防啓発
- (5) ケーブルテレビ（WINK）にて火災予防運動の周知

### 6 蕨市消防本部の活動内容

- (1) 市内 100 世帯を無作為の訪問による住宅用火災警報器の設置調査・指導
- (2) 訪問による感震ブレーカーの普及啓発
- (3) テナントビル等で、階段が一つしかない建物への避難経路に対する立入指導
- (4) 小規模飲食店への消火器設置の指導